

図書室と読書活動

石川 開設当時の思いや、当時の図書室の様子など教えてください。

岩井 福祉会館の開館当初は、第二研修室(当時は結婚式場)の前に本棚を並べて貸し出しを行っていました。それがいいよ、私が入庁した年に図書室を作るぞとなったのですが、その際、私のように本をあまり読まない方も含めて、どんな方でも気軽に来られる図書室にしようと、貸出方式を無記名式にしたり、絵本や青年向けの本を多く置いたり工夫しました。

当時、町の図書費は百万円ありました。この金額は他の市町村を見てもなかなかなくて、大石田町は読書

も書くことが好きで、次年子地区など地域の歴史などを書いていました。その調べ物でここを利用して、たとえば和暦を西暦にするとか何年とか、分からないことがあれば何でもすぐ聞いて、便利に利用させてもらっています。

遠藤 昨年度から司書として勤務している遠藤桂花です。図書室のよさは人の手が加えられた空間であることだと思います。ほっとする場所がこれからもあつてほしい、そう思った皆さんの思いを町立図書館に引き継いでいきたいと思っています。

鈴木 2003年に、当時鷹巣小学校の校長だった草刈先生から勧められたのがきっかけで、東海林さんのように図書館を遊び場にして育った女性や、絵本の好きな女性が地区に



何人かいて、そういった人達が集まって会が始まりました。

矢作 小さい子どもに対する読み聞かせは非常な大切だと思います。私が幼い頃、周りには本を読む人がほとんどいなかったし、小学校に置いてある本も、子どもが読むには難しいものが多くて、読みたくても読めないという環境でした。

読み聞かせは読むのが好きになる、



石川 本が面白いと分かってくるとだんだん好きになっていくものですよ。

東海林 私小さい頃からここで遊んでいましたが、はじめから本を読みに来ていたわけではないと思う。ここに来れば司書の先生が居るので、何を讀んだらいいのかわからない子も本を薦めてもらえたり、子どもが何人か集まると紙芝居読みが始まったり、本と人との距離感の近さはこの強み。

鈴木 インターネットやスマホでは何でも簡単に知ることが出来て便利だけど、その先に広がりがない。この情報が本当に正しいのかどうかも分からない。その点、図書室に来ればたくさん本が目につくし、1冊の本を手にとれば、読んでいるページの前、周辺の情報にも触れることができるんです。

まちとしよ座談会
わたしと図書室

昭和47年4月にオープンし、以来45年間に渡って多くの方に利用いただいた中央公民館図書室は、町民交流センター内に整備される町立図書館の開館準備に向けて、今月31日をもって閉館します。これまで長い間図書室を利用されてきた方や、読書活動に関わった方、町の職員として図書室開設に携わった方など、さまざまな立場の方が集まり図書室の思い出や新しい図書館への期待を語り合いました。

(写真右から) 東海林華奈子さん、矢作善一さん、岩井保和さん、鈴木紀恵さん、海藤忠男さん、石川弘子主任司書、遠藤桂花司書

◇対談日／3月7日(火) ◇場所／大石田町中央公民館図書室

石川 今日は、これまで様々な形で図書室や町の読書活動に関わって来られた方にお集まりいただきました。図書室は今月31日で閉館になります。が、新しい図書館が、利用される皆さんの思いのつまった素敵な空間になるよう、図書室にまつわる思い出、新しい図書館に向けた意見などをお聞きたいと思っています。

担当となりました。そこで中央公民館図書室の開設と運営に携わったのですが、私自身は本とは無縁の人間で、そういった方でも入りやすい図書室はどういうものだろうと考えながら運営に関わりました。

東海林 愛宕町の東海林華奈子です。小さいころからずっとこの図書室に遊びに来ていました。また、子どもが生まれてからは親子で遊びに来て、読み聞かせの本などを借りています。ずっと小さいころから利用していた場所がなくなるのはちょっと寂しいですね。



矢作 東町の矢作善一です。図書室を利用し始めたのは退職した12年前からで、退職後大石田のことを知りたいて改めて思い、そもそも本好きということもあつてよく利用させてもらっています。

海藤 里の海藤忠男です。図書室を利用するようになったのは矢作さんと同じで定年退職後、10年ぶりに訪れた図書室で石川司書に久しぶりですねと声をかけていただいたのをよく覚えています。私は読むことより